

親睦釣り大会 釣り大会優勝の喜び

（株）東開基礎コンサルタント 丸谷佳司

~~~~~  
10月19日（土）は天候と海の状態両方に恵まれて、絶好の釣り日和りであった。今日も釣りを楽しもうとやってきたやまさ丸。おおげさに云えば、毎週のようにお世話になっている「やまさ丸」。自分の船で、自分の海に出て行くようなものである。

今日の釣りは大根又はその周辺でということだからアイナメを中心にした釣りだ。うまくいってカレイやメバルも交ざるかな、と考えていた。しかしいざ大根で釣り始めてみると私にはぼつりぼつりと（一匹二匹と）かかるのだが、同行の他の三人には全然掛かってこなかった。今日は絶好の釣り日和りだが、お魚さんは機嫌が悪いのか、と軽口をたたきながらつり糸をたれるがやっぱり釣れない。しまいにはフグが掛かって来た。頭に来て捨てようとする、となりの友人が「待て、捨てるな。形も良いので俺が食べるから持つろ。」と云う。

そんなやりとりがあってもやはり釣れない。

その後、船は釣れないからカレイ釣りをしようと大型漁礁へと向かった。

カレイ釣りはほとんど毎週やまさ丸にお世話になって出ているし、自作の仕掛けも持って来ている。それに陣取る場所も良い。これで負けるわけがない。案の上隣に陣取るライバルよりも速いペースで一匹二匹と釣れる。内心やはりカレイ釣りならまかせなさいと思う。おそらく船では竿頭であろうと思ったが今日の釣り大会50人以上の人が出席しているし、上には上がいつもいて何度が出場した釣り大会ももちろん優勝などしたことはない。でも入賞したことはあるので、今日はどうだろかと思う自信はあるがやはり名人は他にたくさんいる。あれこれ考えているうちに全員の計量が終了した。友人が「多分一位になるぞ。」と横で云ってくれているがふたを開けるまで勝負は分からない。いよいよ発表。優勝「丸谷佳司」自分の名前が呼ばれる。やはり嬉しい。二位の人の計量結果が発表される。

僅差だ。良かった。あのフグを海に捨てていたなら優勝はなかった。ラッキーと思った。

そして今日はラッキーが重なった故の優勝だ。最初のラッキーはフグを捨てなかったこと、そして二つ目のラッキーはカレイ釣りになったことである。大根での釣りの場合釣れないと湾内に入りハゼ釣りになるのが普通である。と云うのは大型漁礁までは一時間走らせるので燃料費が高くつくし、当然料金も別だから行かないのが普通である。そんなラッキーの二重奏の中での優勝だったが運も実力のうちと云う。よし次回の大会も優勝してやるぞーと思った。

